

各務原市 総合計画

後期基本計画

2020 - 2024



kakamigahara



ごあいさつ



各務原市長
浅野 健司

本市では、平成 27(2015)年、「笑顔があふれる元気なまち ～しあわせ実感 かかみがはら～」を将来都市像に掲げ、令和 6(2024)年度までの市政の羅針盤である「各務原市総合計画」を策定しました。

令和元(2019)年度までの前期基本計画においては、10 年先、20 年先を見据えた取り組みを進めること、喫緊の課題にスピード感をもって対応することを念頭に置き、将来都市像の実現に向け、着実に歩みを進めてまいりました。

前期基本計画における成果や課題を踏まえたまちづくりを進めるとともに、現在、そしてこれからの時代の潮流や本市を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、このたび、今後 5 年間に於ける本市が目指す姿と進むべき道筋を改めて示す「各務原市総合計画 後期基本計画」をまとめました。

後期基本計画では、全分野共通の取り組み方針として、「つながりづくり」を掲げています。人口減少や少子高齢化の進展、地域コミュニティの希薄化に起因する地域課題が顕在化する中においては、地域の中で顔の見える関係を作っていくこと、人や団体などが有機的なつながりをつくっていくことが必要です。また、市が取り組む施策に関しては、今後さらに増えていくであろう、様々な問題をはらむ複合的な課題や分野の狭間に生じる問題に対応するため、各施策の枠を超え、政策間のつながりを拡げていくことが重要です。

後期基本計画においては、こうした「つながりづくり」を大切にされた施策に力を入れるとともに、前期基本計画に引き続き、市民、自治会、各種団体、NPO、企業などの皆さんとの「対話」をまちづくりの基礎とし、「オール各務原」でまちづくりに取り組み、「幸せを実感できるまち」の実現に向け、歩みを進めてまいります。

おわりに、本計画の策定にあたりまして、市民ワークショップや市民意識調査などで貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆さまをはじめ、終始熱心にご議論いただきました総合計画審議会委員並びに市議会議員の皆さまに心から感謝申し上げます。

令和 2(2020)年 3 月